

はじめに

本市は、平成17年8月、八代市、坂本村、千丁町、鏡町、東陽村及び泉村が合併して新生「八代市」となりました。

新市は、九州新幹線や八代港など広域交流交通網や物流拠点を機軸とした県下随一の産業集積都市である一方、市域の約1割を占める農用地では「トマト」や「い草」など全国ブランドとなる農産物が生産されています。また、新市発足に伴って、森林面積が全体の約7割を占め、奥山や里地・里山、干潟など多様で豊かな自然環境を有する地域となりました。

新市建設計画における将来像であります「恵まれた資源を活かして、発展する豊かなまち」、「人と地域が主役のまち」を実現するためには、高い拠点性を活かした産業経済の発展と自然環境との融和を念頭に置きながら、今後の市政運営を図っていく必要があると考えております。

21世紀のキーワードは、環境であるといわれています。

今日、私たちを取り巻く環境は、地球温暖化やオゾン層の破壊など地球規模のものから、水質汚濁やごみ問題、近隣騒音など身近なものまで、広範かつ複雑多様化しているのが現状です。

これらの問題の多くは、私たちが生活の利便性、快適性を追求してきた結果として生じたものであり、その解決のためには、日頃の事業活動や私たち一人ひとりのライフスタイルを見直し、環境への負荷が少ない循環型社会を構築していくことが不可欠であります。

今後とも、公害の防止や地球環境問題、自然環境の保全を本市の重要な環境施策と位置づけ、市民・事業者の皆様とのパートナーシップの輪を広げながら、新生「八代市」の発展のために邁進して参りたいと考えております。

本書を多くの皆様に御高覧いただくことによって、環境問題への理解と認識を深め、継続的かつ積極的な活動を進めていくための一助となれば幸甚に存じます。

平成19年2月

八代市長 坂田 孝志